

## 2010 年度第 1 回 サロン 2002 理事会報告

【日 時】 2010年4月9日 (金) 17:10~18:45 (19:00~21:00月例会 → その後「ルン」)

【会 場】 筑波大学附属高校2F応接室

【出欠席】

◆出席…理 事 : 阿部博一 高田敏志 高橋義雄 中塚義実 本多克己

運営委員 : 岸卓巨 (慣例で、名簿・会計担当運営委員には出席を依頼している)

◆欠席…理 事 : 田中俊也 (高橋義雄氏に一任)

監 事 : 齋藤健司

【議 題】 (5月8日の総会に提案できるよう、以下について議論する)

I. 2009年度総括 (事業報告及び決算)

II. 2010年度準備 (事業計画及び予算)

III. 規約の改廃

IV. その他サロンに関する重要事項

【本報告作成者】 中塚義実

### ■議題 I : 2009年度の総括

#### 1. 会費納入状況について

2009 年度の入会意思表示者は 146 名。うち、4 月 9 日時点での会費納入者は 126 名、未納者 19 名、不足者 1 名 (一口 3,000 円のところを 2,000 円だけ入金。1,000 円不足)。会計担当から E メールにて 1 月 25 日に督促済だが、いまだ入金が確認できない。

おそらく悪意はなく、うっかりミスだと思われるが、入金がないと自動的に退会扱いとなるばかりか、「実は 2009 年度から会員ではなかった (にもかかわらず 1 年間「サロン通信」を受け取っていた)」ことになってしまう。

“2009 年度” 会費納入の最終期限を「4 月末日」とし、理事が手分けして最後の督促に当たる。理事の督促の前に、サロン通信に氏名を掲載する形で督促し、会員相互に入金を促す。

<4 月 9 日時点での“2009 年度” 会費未納者 (19 名・敬称略) >

伊藤禎治、井上裕康、浦和俊介、江川順子、押山節幸、古藤田信博、貞永晃二、高橋誠、高橋正紀、竹中茂雄、田村充、中島昭博、長田健登、松岡耕自、松下潤、武藤文雄、安松幹展、山下高行、吉田毅

<4 月 9 日時点での“2009 年度” 会費不足者 (1 名・敬称略) >

梶田孝史 (1,000 円不足)

#### 2. 事業報告及び決算

年度末総会の時点では中間報告だったが、次回総会で最終報告ができるように、会計担当の岸氏の資料をもとに決算の確認をした。

2009 年度末のサロン総会 (ネット上で開催) 以降、1 名から会費納入があり、その方に 2009 年度の名簿等を郵送したので、その部分の数字が変わっている。今後、2009 年度会費納入があれば同様の手

続きを踏むので、数字はその都度変わってくるが、4月末日で最終的に締め、会計監査をお願いする。  
 以下は、2009年度末総会時点の数字（参考として、2008年度決算を右に並べた）

<2010年3月12日時点での2009年度決算>

【収入の部】

|        |          |
|--------|----------|
| 会費受入   | 422,000円 |
| 雑収入    | 166,112円 |
| 前年度繰越金 | 108,105円 |
| 収入計    | 696,217円 |

【支出の部】

|  |          |
|--|----------|
| 月例会補助  | 10,000円  |
| プロジェクト補助   | 203,532円 |
| (シンポジウム補助に203,532円)                                    |          |
| 事務費  | 244,507円 |
| (旅費0円、印刷製本114,800円、通信運搬<br>30,850円、雑役務98,730円、消耗品127円) |          |
| 予備費  | 0円       |
| 支出計  | 458,039円 |

【繰越金】 696,217円－458,039円＝238,178円

<参考：2009年5月5日時点での2008年度決算>

【収入の部】

|        |          |
|--------|----------|
| 会費受入   | 380,000円 |
| 雑収入    | 899円     |
| 前年度繰越金 | 400,987円 |
| 収入計    | 781,886円 |

【支出の部】

|   |          |
|---|----------|
| 月例会補助   | 36,000円  |
| プロジェクト補助  | 335,357円 |
| (HP更新210,000円、シンポジウム補助125,357円)                               |          |
| 事務費   | 368,914円 |
| (旅費168,850円、印刷製本100,000円、通信運搬<br>8,900円、雑役務89,070円、消耗品2,094円) |          |
| 予備費   | 0円       |
| 支出計   | 740,271円 |

【繰越金】 781,886円－740,271円＝41,615円

◆会費未納者問題について

年度会費未納者のことは毎年問題になるし、労力を考えると督促はやめてもよいのだが、誰にでも「うっかりミス」はある、という前提で、督促を続けている。「うっかりミス」は極力減らしていただきたいが、それ以上に問題なのは「勘違い」している場合である。「会員は会費を払う」のではなく（それは当たり前）、サロン2002では「会費を払った人が会員」なのである。昨年度末総会での規約改定は、この考えをより明確化したもの。

いま募集しているのは“2010年度”会員で、いま徴収しているのは“2010年度”会費（3,000円）。今ごろ“2009年度”会費を納めるのは1年遅であるということをしっかり伝える必要がある。

◆公開シンポジウム決算について

2010年3月6日に行われたシンポジウム決算書(すでに2009年度末総会で承認済み)について、「雑費」に「懇親会補助」や「演者懇親会代」が含まれているのはおかしいのではないかと指摘があった。

「懇親会補助」は、参加者の中で懇親会費を払わなかった（これもうっかりミスだろうが）人がおり、その分をやむなく支出したというもの。実は2008年度も同様のケースがあり、高田事務局長が自腹を切ることがあったとのこと。2009年度はそうならぬよう、シンポジウムの受付段階で、懇親会参加者の懇親会費を徴収するようにしたにもかかわらず、漏れが出た。次年度は決してこのようなことがないように、参加者の自覚をより一層促す（飲んだら払うのは当たり前！）。

「演者懇親会代」は、今回の演者が会員外だったので、サロンでその方の分を負担したもの。

「会員外の演者の方にも懇親会に出ていただくために、サロンで懇親会費を負担する」との考えに基づくが、一方で「会員であろうとなかろうと、飲んだら払うのは当たり前」との考えもある。

考え方をすり合わせておく必要があるかもしれない。

## ■議題Ⅱ．2010年度の準備

### 1．入退会について（2010年度名簿進捗状況）

3月24日（水）～4月25日（日）を2010年度会員募集期間としている。4月9日時点での名簿原稿提出者は次のとおり。会員からの提出状況が悪いのは予想通り。通信で督促する。

<名簿原稿提出者（提出順）>

3/24 小池正通 山本浩義 泉優二 浅野立也

3/25 清水諭 牛木素吉郎 今橋富士夫

3/27 辰巳義和

3/30 菊地正行 藤田文武

3/31 田中俊也 宇都宮鉄壺

4/3 笠野英弘

4/6 佐藤清志

4/7 梶野政志 高田勝敏

注）下波線は、2010年度からの新入会

### 2．組織について

#### 1) 理事の役割

現理事会の任期は2009～2010年度。2009年度に引き続き、次のとおり業務を遂行する。

<理事会役割分担>

中塚義実 … 理事長 : 総括

本多克己 … 副理事長 : 広報・ホームページ管理

田中俊也 … 理事 : 広報・ホームページ監査

阿部博一 … 理事 : 企画・月例会

高橋義雄 … 理事 : 企画・月例会

高田敏志 … 理事 : 企画・公開シンポジウム

2010年度下半期あたりに「役員候補者選考委員会」を立ち上げ、次期役員候補者の選出にあたる。慣例により、副理事長に同委員会を進めてもらうつもりである。

#### 2) 運営委員の選任

運営委員も引き続き同じメンバー、同じ業務で願います。ただし、年度途中であっても運営委員をどなたかに願うことはある。

①会計担当 … 岸卓巨

②名簿担当 … 岸卓巨

③メーリングリスト担当 … 熊谷建志

④ホームページ担当 … 本年度は置かない

⑤月例会の運営その他の事業担当 … 嶋崎雅樹 宮川淑人 室田真人

### 3．事業計画および予算

2010年度の活動方針、月例会・公開シンポジウムのテーマなどについて、一括して議論した。

理事会で出てきた意見、方針を以下に述べる。これらについて事前に会員から意見をいただいた上で5月8日の総会で議論し、方針を決定する。

### ◆関西サロンの活性化

単発的に行う段階から、中・長期的な見通しを持ち計画的に進める段階に来ているのではないか。関西在住の方だけでなく、広く意見を求め、関西サロンの今後のあり方について検討していきたい。具体的には、年4回の開催。まずはこれを目標に。

お金のかからない会場を探す。会場は固定でもいい（たとえば堺市にできたナショナルトレセンなど）が、移動が簡単という関西圏の特徴を活かし、大阪、神戸、京都、奈良、和歌山、滋賀、などと毎回変えていくのも手である。

テーマはいろいろ考えられる。関西在住の多種多様な会員に話題提供していただくのもよいし、関東から出向いていくのもよい。まずワールドカップ前に、宇都宮徹壺氏と秋元大輔氏による「南アフリカへのいざない」ができればよい。その際の演者の交通費は、サロン本体から出張として出すことが可能（前例あり。関西サロンの活性化の方針が了解されれば、より一層出しやすくなる）。

本多理事と宮川運営委員を中心に意見をまとめ、5月8日の総会で議論する。

### ◆2010年度に取り上げたいテーマ例

自由に意見を述べ、どんな可能性があるか、アイデアを出し合った。

- 2002年FIFAワールドカップの検証と2022年FIFAワールドカップ招致活動の意義
- FIFAワールドカップ招致活動の成果と課題

12月のFIFA理事会（2018、2022年開催国決定）の後、招致の成否はともかく、報告を聞きたい

- FIFAワールドカップ・南アフリカ大会をめぐって

宇都宮徹壺氏による「南アフリカへのいざない」は、大会前に是非やりたい。特に関西で（首都圏では、サロン以外でも何度かやっている）

大会期間中、または大会終了後に、現地へ出かけた人の報告を聞きたい。

- 日本体育協会100周年（2011年）をめぐって

サロンとして「日本スポーツ界の100年」を検証しておきたい

- 高校サッカー90年史をめぐって

2012年度中に発刊すべく編集委員会が発足、サロン会員も多く関わっている。

- クラマー来日50周年

10月にJFAが、クラマー氏を招待する。それにかからめてサロンで何かできないか

- 女性とサッカー、女性とラグビー

五輪種目となった7人制ラグビーは男子だけでなく女子の種目でもある。女性のラグビーの今後は？女性のサッカーの現状と今後はフットサルの普及ともからめて取り上げたい。全国選抜大会となり、一段とレベルアップした「トリムカップ・レディースフットサル大会」の動向も追いつけたい。

- 海外のサッカー事情（特に育成年代）

ドイツ（ベルリンサッカー協会研修してきた高田勝敏氏ほか）、イタリア（今春研修で訪問した高田敏志氏と伊藤慧氏、また今夏にイタリアから帰国予定の井田征次郎氏ほか）など、海外の育成年代のサッカー事情について、詳しい方も大勢いるので教えてほしい。

- 育成年代の指導について

川崎フロンターレU-12が2年連続で世界大会へ。監督の高崎康嗣氏に話題提供していただきたい。

Jリーグアカデミーに携わってこられた山下則之氏をはじめ、サロンには各種別、各地域のサッカー指導者が大勢いる。サッカー以外のスポーツ指導者も多い。育成年代のスポーツ指導とスポーツ環境を取り上げたら、大変密度の濃い意見交換となろう。

・2011年5月には、名古屋でScience & Footballの国際学会がある。2011年3月あたりに「フットボールの科学」を取り上げることはできないだろうか。

#### ◆月例会・公開シンポジウム・関西サロン・出張サロンなど

このような議論を踏まえて、何月ごろ、どのようなことが可能かを、ざっくり議論した。

首都圏（於筑波大学附属高校）                      関西サロン・出張サロンほか

- |     |                                |                    |
|-----|--------------------------------|--------------------|
| 4月  | 7人制ラグビー                        |                    |
| 5月  | ドイツのサッカー                       | 南アフリカへのいざない（宇都宮氏？） |
| 6月  | FIFAワールドカップ・南アフリカ              |                    |
| 7月  | 2002年の検証                       | サロンin大分（シンポジウム？）   |
| 8月  |                                |                    |
| 9月  | 8～11月で育成期の環境や指導について取り上げたい      |                    |
| 10月 | （高校サッカー史や女性のフットボールについてもこのあたり？） |                    |
| 11月 |                                |                    |
| 12月 | お宝映像上映会（?）                     |                    |
| 1月  | FIFAワールドカップ招致活動の成果と課題          |                    |
| 2月  | シンポジウム「育成期の指導」                 |                    |
| 3月  | フットボールの科学                      |                    |

柱となるのは、「2010FIFAワールドカップ・南アフリカ」と、「育成期の指導」か。

### ■議題Ⅲ：規約の改廃

2009年度末総会で済み。

### ■議題Ⅳ：その他サロンに関する重要事項

#### ◆サロンの今後—事務局機能の強化と法人化へ向けて

以前も議論したことだが、サロンの潜在的な力をより大きなものにつなげていくためにも、事務局機能を強化することは必要。単なる無償ボランティアでなく、労力に対する対価を支払うべき。

サロン会員のまざまな活動の事務局を、有給の“サロン職員”が担う形はとれないだろうか。

たとえば DUO リーグ、あるいはスキンプロジェクトなどの管理業務をサロンが担うなど。

利益を生む体質を作っていく必要がある。情報の金銭的な価値は大きい。

以上（文責：中塚義実）